



LWB-24 / LWB-72 ファームウェア Ver.2.3.2

リリース・ノート

オタリテック株式会社

2022 年 9 月 27 日

LWB-24 / LWB-72 ファームウェア Ver.2.3.2 をリリースいたしました。Ver.2.3.1 からの主な変更内容は以下の通りです。なお、LwcV3 とは原則的に Lightwinder Commander V3 の最新バージョン = Ver.1.3.1 を指しています。また、特に記載のない場合、“修正された不具合”はファームウェア Ver.2.3.1 以前の全バージョンにて発生します(ただし、不具合に関連する機能が搭載されていないバージョンを除く)。

1. 修正された不具合

1-1 LwcV3 使用時に生じる以下の不具合

- 1 つの COMM.モジュールに接続している 3~4 台のコメンタリー・ボックスの各チャンネルに対して、LwcV3 の CONTROL モードでファイルを開き(ファイル・ロードにて)、グループ No.とルーティング No.を同時に設定すると、ファイル通りのルーティングにならない場合がある。
- LwcV3 がオンライン・モードで接続しているときに、LWB 本体をユニット・モニター・モード([UNIT MONITOR])にしてエラー履歴を表示すると、この LWB で最後に発生(表示)したエラーが自機のものである場合、このエラーが新しく発生したエラーとして LwcV3 に表示されることがある。

1-2 内部エラー(Err000 / Internal Error / sub-code: 108)を生じることがある

詳細: フィックスド・モジュールの任意のチャンネルをリモート操作しようとする時、内部エラー(Err000 / Internal Error / sub-code: 108)を生じることがある;- LWB ファームウェアのバージョンにかかわらず、リモート操作が可能なフィックスド・モジュールのチャンネルはありません。

2. 改良または追加された機能

2-1 エラー発生に関する以下の変更

- 温度エラー(Err011 / Temperature (C))が発生した場合、最小で 70 秒間、冷却ファンの回転速度を最大とするように改良。
- LWB 起動後にトランシーバーとの内部通信に異常が発生した場合、エラー(Err012 / Main Optical SFP / Read Temperature, Read Power)が発生するように改良。また、トランシーバーが装着されていないときは、OPT インジケータが消灯となるように変更(OPT インジケータは LWB ファームウェア Ver.2.1.0 以前では緑点灯、同 Ver.2.1.1~ Ver.2.3.1 では緑点滅)。

2-2 リモート操作にて Mic チャンネルの PAD 等のパラメーターを変更したとき、操作をしている側の LWB の BUSY インジケータも点灯する

備考: 正しくは、LWB 毎にバックアップするパラメーターが変更されてからバックアップが完了するまでの間のみ点灯。

以上